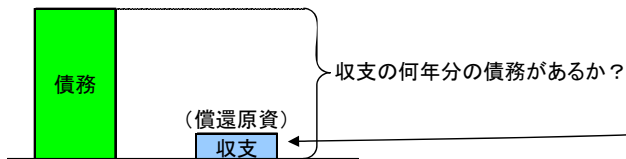


# 4つの財務指標

## 債務償還可能年数(単位:年)

### 算式

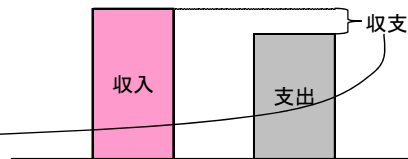
実質債務 / 行政経常収支  
家計に例えると・・・ローンを返済するのに何年かかるか



(注)実質債務=地方債現在高+有利子負債相当額-積立金等

### 意義

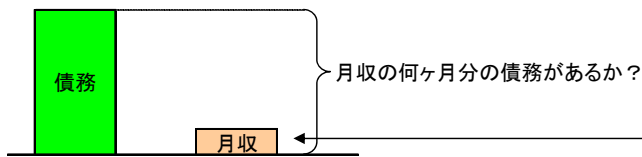
1年間で生み出される償還原資の何倍の債務を抱えているかを見る



## 実質債務月収倍率(単位:月)

### 算式

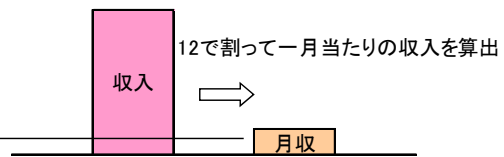
実質債務 / (行政経常収入 / 12)  
家計に例えると・・・ローンが給与の何倍か



(注)実質債務=地方債現在高+有利子負債相当額-積立金等

### 意義

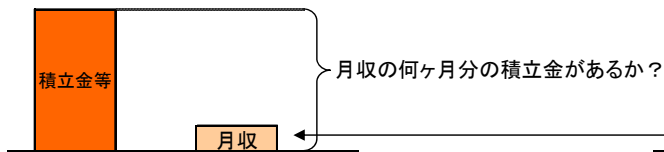
一月当たり収入の何ヶ月分の債務があるかを見る



## 積立金等月収倍率(単位:月)

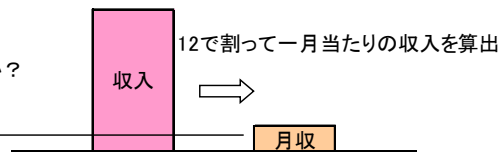
### 算式

積立金等 / (行政経常収入 / 12)  
家計に例えると・・・預貯金が給与の何倍か



### 意義

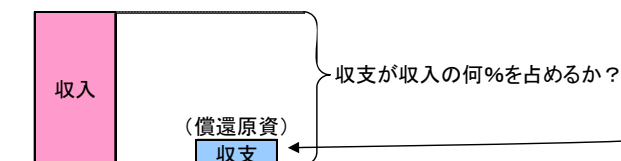
一月当たり収入の何ヶ月分の積立金があるかを見る



## 行政経常収支率(単位:%)

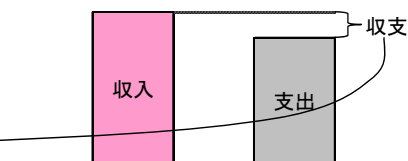
### 算式

行政経常収支 / 行政経常収入  
家計に例えると・・・ローンの返済に回せるお金はどのくらいか



### 意義

収入からどの程度の償還原資を生み出しているかを見る



# 財務状況把握の結果概要（診断表）の読み方

## 結果概要

〇〇市

### 平成〇〇年度 〇〇市財務状況把握の結果概要

都道府県名	団体名	財政力指数	標準財政規模(百万円)
	〇〇市	H〇〇.1.1人口(人)	平成〇〇年度職員数(人)
		面積(Km <sup>2</sup> )	人口千人当たり職員数(人)

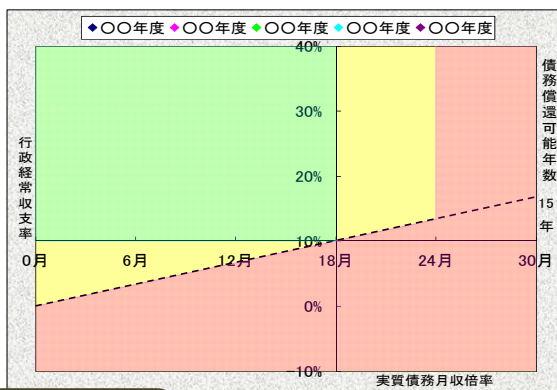
#### <人口構成の推移>

(単位:千人)

	総人口	年齢別人口構成						産業別人口構成					
		年少人口 (15歳未満)	構成比	生産年齢人口 (15歳~64歳)	構成比	老年人口 (65歳以上)	構成比	第一次産業 就業人口	構成比	第二次産業 就業人口	構成比	第三次産業 就業人口	構成比
12年国調													
17年国調													
22年国調													
22年国調	全国												
	〇〇県												

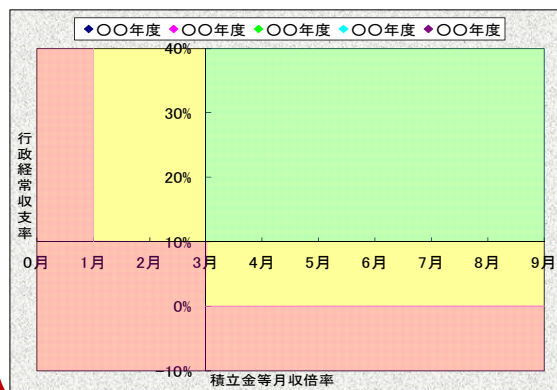
#### ◆ヒアリング等の結果概要

右のページの説明1参照【債務償還能力】



右のページの説明2参照

【資金繰り状況】



右のページの説明3参照

【財務上の問題】

債務高水準	
積立低水準	
収支低水準	

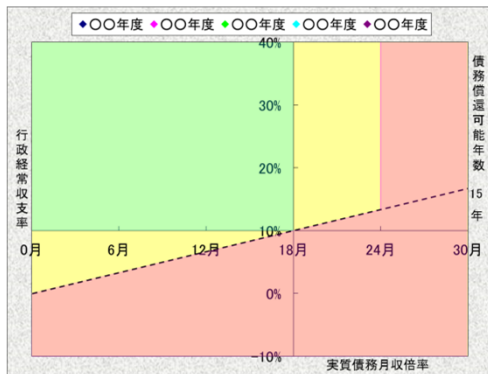
右のページの説明4参照

【要因分析】

債務高水準		積立低水準	収支低水準
建設債		建設投資目的の取崩し	地方税の減少
実質的な債務	債務負担行為に基づく支出予定額	資金繰り目的の取崩し	人件費・物件費の増加
	公営企業会計等の資金不足額	その他	扶助費の増加
	土地開発公社に係る普通会計の負担見込額		補助費等・繰出金の増加
	第三セクター等に係る普通会計の負担見込額		その他
その他			

## 説明1 債務償還能力

【債務償還能力】



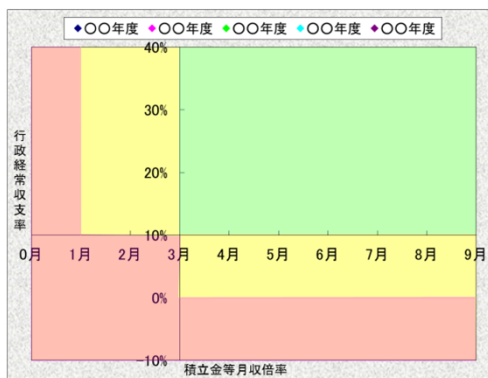
グラフは、過去5年間の債務償還能力の状況を示しています。

左上に向かうほど債務償還能力が高いことを意味します。指標の値が「赤」の部分にある場合は「全国平均から著しく乖離（悪化）している場合」のことを、「黄」の部分にある場合は診断基準には該当しないが「全国平均と何れかの指標値が乖離（悪化）している場合」のことを、「青」の部分にある場合は診断基準に該当しないことを、それぞれ意味します。

縦軸は行政経常収支率、横軸は実質債務月収倍率、斜め線は債務償還可能年数を表しています。

## 説明2 資金繰り状況

【資金繰り状況】



グラフは、過去5年間の資金繰り状況を示しています。

右上に向かうほど資金繰り状況が良好であることを意味します。指標の値と背景色との関係は、債務償還能力のグラフの説明と同様です。

縦軸が行政経常収支率、横軸が積立金等月収倍率を表しています。

## 説明3 財務上の問題

【財務上の問題】

債務高水準	
積立低水準	
収支低水準	

債務償還能力及び資金繰り状況は「財務上の問題」の有無により判定しています。

財務状況把握では「財務上の問題」の有無を「債務水準の高低」「積立水準の高低」「収支水準の高低」の観点から整理しています。

「財務上の問題」に該当している場合には、該当欄に「○」で示しています。

## 説明4 要因分析

【要因分析】

	債務高水準	積立低水準	収支低水準
建設債		建設投資目的の取崩し	地方税の減少
	債務負担行為に基づく支出予定額	資金繰り目的の取崩し	人件費・物件費の増加
	公営企業会計等の資金不足額	その他	扶助費の増加
実質的な債務	土地開発公社に係る普通会計の負担見込額		補助費等、補正金の増加
	第三セクター等に係る普通会計の負担見込額		その他
	その他		
その他			

「財務上の問題」に該当している場合、各問題について、統一的手法に基づいて要因分析した内容を「○」で示しています。

◆財務指標の経年推移

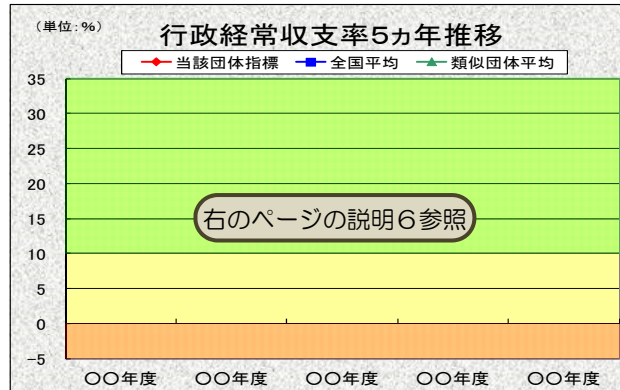
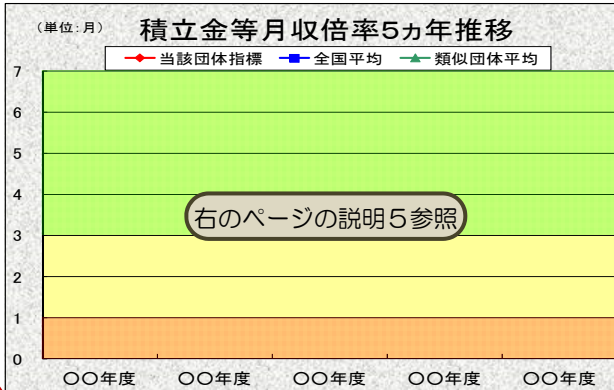
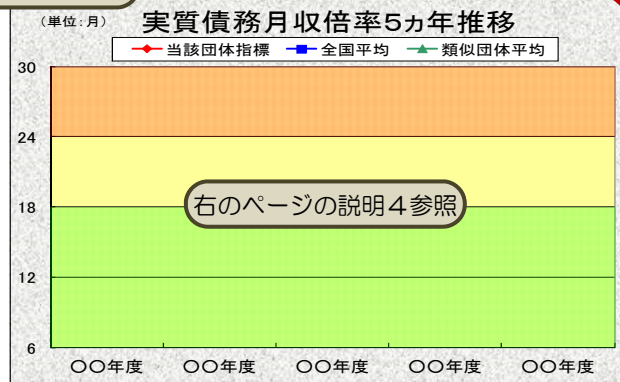
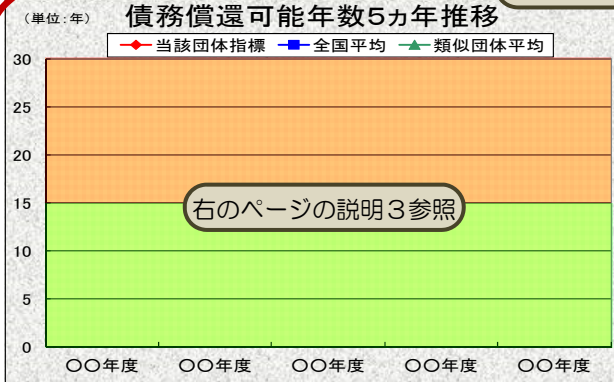
<財務指標>

	平成〇〇年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度
債務償還可能年数					
実質債務月収倍率					
積立金等月収倍率					
行政経常収支率					

右のページの説明1参照

類似団体 平均値	全国 平均値

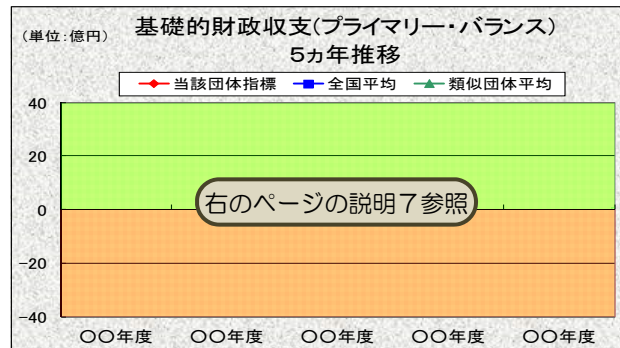
右のページの説明2参照



<参考指標>

(〇〇年度)

健全化判断比率	団体値	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率			
連結実質赤字比率			
実質公債費比率			
将来負担比率			



基礎的財政収支 = [歳入 - (地方債 + 繰越金 + 基金取崩)] - [歳出 - (公債費 + 基金積立(※))]  
 (※)基金積立には決算剰余金処分による積立額を含まない。

※1. 債務償還可能年数について、分子(実質債務)がマイナスとなる場合は「0.0年」、分母(行政経常収支)がマイナスとなる場合は「-」(分子・分母ともマイナスの場合は「0.0年」として表示している。  
 ※2. 右上部表中の「類似団体平均値」及び「全国平均値」については、各団体の〇〇年度計数を単純平均したものである。  
 ※3. 上記グラフ中の「類似団体平均」の類型区分については、〇〇年度の類型区分による。  
 ※4. 平均値の算出において、債務償還可能年数と実質債務月収倍率における分子(実質債務)がマイナスの場合には「0(年・月)」として単純平均している。

## 説明1 類似団体平均・全国平均

類似団体 平均値	全国 平均値

各財務指標の類似団体平均・全国平均が表示されています。類似団体については、人口及び産業構造によって総務省が分類した35類型に基づいた平均です。

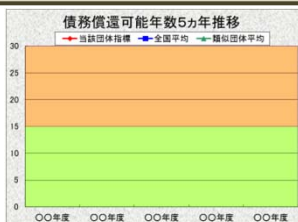
## 説明2 5ヶ年推移表

各財務指標の団体指標・全国平均・類似団体平均の5ヶ年推移表です。

## 説明3 債務償還可能年数

算式：実質債務÷行政経常収支

※実質債務＝地方債現在高＋有利子負債相当額－積立金等



債務償還可能年数は、1年間で生み出される償還原資の何倍の債務を抱えているかを見るものです。

## 説明4 実質債務月収倍率

算式：実質債務÷(行政経常収入÷12)



実質債務月収倍率は、一月当たりの収入の何ヶ月分の債務があるかを見るものです。

## 説明5 積立金等月収倍率

算式：積立金等÷(行政経常収入÷12)



積立金等月収倍率は、一月当たりの収入の何ヶ月分の積立金があるかを見るものです。

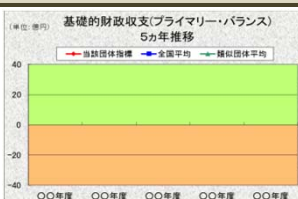
## 説明6 行政経常収支率

算式：行政経常収支÷行政経常収入



行政経常収支率は、収入からどの程度の償還原資を生み出しているかを見るものです。

## 説明7 基礎的財政収支



基礎的財政収支は、起債額以外の収入から公債費以外の支出を控除し、財政の安定性を見るものです。

# 行政キャッシュフロー計算書

〇〇市

## ◆行政キャッシュフロー計算書

(百万円)

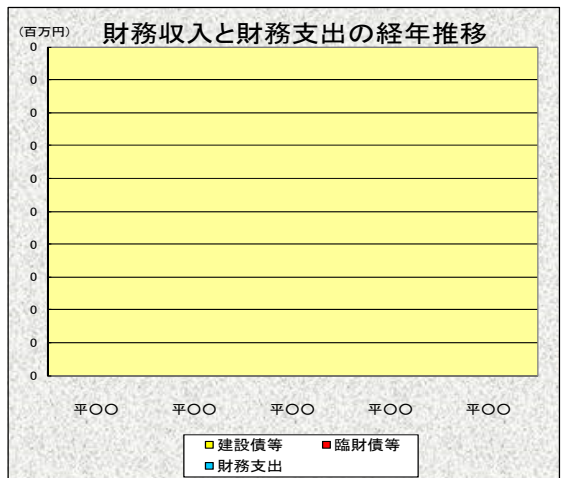
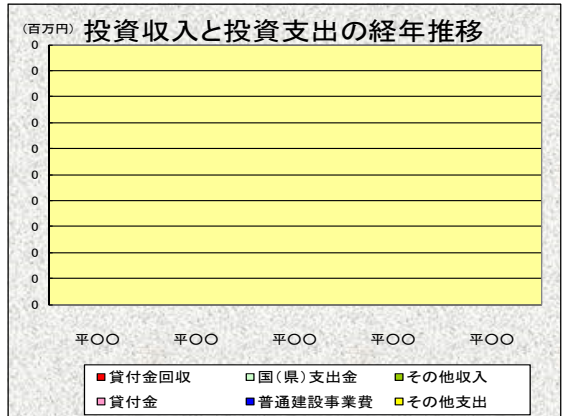
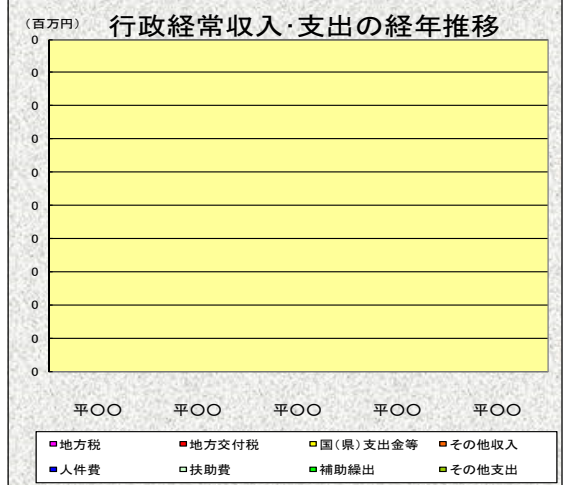
	平〇〇	平〇〇	平〇〇	平〇〇	平〇〇
<b>■行政活動の部■</b>					
地方税					
地方譲与税・交付金					
地方交付税					
国(県)支出金等					
分担金及び負担金 ・寄附金					
使用料・手数料					
事業等収入					
行政経常収入					
人件費					
物件費					
維持補修費					
扶助費					
補助費等					
繰出金(建設費以外)					
支払利息 (うち一時借入金利息)					
行政経常支出					
行政経常収支					
特別収入					
特別支出					
行政収支(A)					
<b>■投資活動の部■</b>					
国(県)支出金					
分担金及び負担金 ・寄附金					
財産売却収入					
貸付金回収					
基金取崩					
投資収入					
普通建設事業費					
繰出金(建設費)					
投資及び出資金					
貸付金					
基金積立					
投資支出					
投資収支					
<b>■財務活動の部■</b>					
地方債 (うち臨財債等)					
翌年度繰上充用金					
財務収入					
元金償還額 (うち臨財債等)					
前年度繰上充用金					
財務支出(B)					
財務収支					
収支合計					
償還後行政収支(A-B)					
<b>■参考■</b>					
実質債務 (うち地方債現在高)					
積立金等残高					

右のページの説明1参照

右のページの説明2参照

右のページの説明3参照

右のページの説明4参照



(注) 棒グラフの左が収入を表し、右が支出を表している。



## 説明1 行政活動の部

(百万円)

	平〇〇	平〇〇	平〇〇	平〇〇	平〇〇
<b>■行政活動の部■</b>					
地方税					
地方譲与税・交付金					
地方交付税					
国(県)支出金等					
分担金及び負担金 ・寄附金					
使用料・手数料					
事業等収入					
行政経常収入					
人件費					
物件費					
維持補修費					
扶助費					
補助費等					
繰出金(建設費以外)					
支払利息 (うち一時借入金利息)					
行政経常支出					
行政経常収支					
特別収入					
特別支出					
行政収支(A)					

・資産形成にはつながらない行政サービスの提供活動の結果として、現金預金(財政調整基金、減債基金を含みます。以下同じ。)がどれだけ増減したかを表します。

・行政収入には一般財源の多くが計上される一方、行政支出には普通建設事業費や公債費の元金償還部分が含まれないことから、通常、行政経常収支及び行政収支は黒字となります。

## 説明2 投資活動の部

<b>■投資活動の部■</b>					
国(県)支出金					
分担金及び負担金 ・寄附金					
財産売却収入					
貸付金回収					
基金取崩					
投資収入					
普通建設事業費					
繰出金(建設費)					
投資及び出資金					
貸付金					
基金積立					
投資支出					
投資収支					

・社会資本整備のための支出である普通建設事業費とその特定財源である国庫支出金等を中心として、財産の売却、他会計等への出資・貸付及びその回収、その他特定目的基金等(財政調整基金、減債基金は含みません)の積立及び取崩などの投資活動により、現金預金がどれだけ増減したかを表します。

・投資収入には建設債の起債収入が計上されないこと等から通常、投資収支は赤字となります。

## 説明3 財務活動の部

<b>■財務活動の部■</b>					
地方債 (うち臨時債等)					
翌年度繰上充用金					
財務収入					
元金償還額 (うち臨時債等)					
前年度繰上充用金					
財務支出(B)					
財務収支					
収支合計					
償還後行政収支(A-B)					

・主に地方債の起債と償還により現金預金がどれだけ増減したかを表します。

・繰上充用金の影響を除いた、財務収支が黒字の場合は地方債残高が増加したことを、赤字の場合は地方債残高が減少したことを意味します。

## 説明4 実質債務、積立金等残高

<b>■参考■</b>					
実質債務 (うち地方債現在高)					
積立金等残高					

・積立金等残高は、現金預金とその他特定目的基金の合計額であり、実質債務とは、地方債現在高に有利子負債相当額を加算し、積立金等残高を控除したものです。

◆ヒアリングを踏まえた総合評価

◎債務償還能力について

長期的な視点

実質債務月収倍率・行政経常収支率・債務償還可能年数の指標値に基づいて、【ストック面】【フロー面】【債務償還能力】の各項目としてまとめた内容を記載しています。

◎資金繰り状況について

短期的な視点

積立金等月収倍率・行政経常収支率の指標値に基づいて、【ストック面】【フロー面】【資金繰り状況】の各項目としてまとめた内容を記載しています。

※ 債務償還能力及び資金繰り状況について、以下のとおり計数補正を行っている。

※指標値について補正した項目があれば内容を記載しています。

◎財務の健全性等に関する事項

- ・財務上の問題が生じている場合、ヒアリング等によって把握した要因を記載しています。
- ・収支計画から把握した今後の見通しを記載しています。
- ・その他、ヒアリングを通じて把握した留意点等を記載しています。